

平成26年度 立谷沢川流域砂防事業



立谷沢川上流域は荒廃が激しいため、最上川に大量の土砂が流出しており、昭和初期では酒田港まで土砂で埋め尽くされると言われたほどでした。

このため、昭和12年から国直轄事業として砂防施設整備に着手し、これまで43基の砂防堰堤(※1)と、21,000mの溪流保全工(※2)を整備しています。

なお、今年度発注済みの工事は以下のとおりです。

- ①立谷沢川流域濁沢川ほか整備工事 … 平成23年5月に発生した大規模な地すべり(池ノ台地すべり)により濁沢第5砂防堰堤にたまった土砂を取り除く除石工事
(工期 H26.5.3.8~H25.11.29)
- ②立谷沢川流域東大沢砂防堰堤工事 … 東大沢砂防堰堤の施工
(工期 H26.3.18~H27.1.19)
- ③立谷沢川流域松沢砂防堰堤工事用道路工事 … 砂防堰堤工のための工事用道路を施工
(工期 H26.3.15~H26.11.28)
- ④立谷沢川流域溪流保全工工事 … 六瀬砂防堰堤にたまった土砂の一部を掘削して取り除く除石工事
(工期 H26.3.18~H26.10.30)
- ⑤立谷沢川流域肝煎地区溪流保全工工事 … 立谷沢川溪流保全のための護岸・根固めの工事
(工期 H26.3.26~H26.12.10)
- ⑥立谷沢川流域下流溪流保全工工事 … 立谷沢川溪流保全のための護岸・根固めの工事
(工期 H26.5.2~H26.11.28)

！工事へのご協力をお願いいたします！



6月『土砂災害防止月間』 みんなで防ごう土砂災害！

昨年も全国各地で土砂災害が発生し、特に10月に東京都大島町で発生した土砂災害は記憶に新しく、未だに被災地に深い傷跡を残しています。6月～7月の梅雨前線豪雨や夏から秋の台風による大雨によって全国各地で数多くのがけ崩れや土石流による被害が発生し、土砂災害対策の重要性が改めて認識されています。

山形県内でも3年前の5月に庄内町濁沢右岸池ノ台地区で大規模な深層崩壊が発生したり、昨年7月には南陽市や西置賜郡白鷹町で地すべりやがけ崩れが発生し、現在も対策が行われているなど、私たちの身近なところでも土砂災害が起きています。

土砂災害にあわないためには、行政側の「知らせる努力」と住民側の「知る努力」がたいへん重要になります。事前に自分の住んでいるところの土砂災害危険箇所を、役場やインターネット、庄内町が各ご家庭に配布している「土砂災害ハザードマップ」で確認し、さらに避難場所の確認や、懐中電灯やラジオなどの防災用品を備えておくことも重要です。土砂災害警戒情報はテレビだけでなくインターネットや携帯電話からも確認できます。警報が発令されたら、早めに安全な場所に避難しましょう。

今年も梅雨に入り、早くも土砂災害が発生している地域があります。自分の住んでいる町は大丈夫と思わず、しっかりと「そのとき」に備えましょう。

みんなで防ごう土砂災害



国土交通省・都道府県

◆正しい情報を入手し、
すばやく避難しましょう◆

- ①気象庁HP：「土砂災害警戒情報」
<http://www.ima.go.jp/ip/dosha/>
- ②「山形県河川砂防情報システム」HP
<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/>



- ③山形県河川砂防情報システム（携帯版）
<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/mobile/>



◆事前に危険箇所・避難場所を
チェックしましょう◆

自分の住んでいるところの土砂災害危険箇所は、
役場やインターネットで確認できます。



山形県HP：
土砂災害危険箇所図

「さきちゃんだより」 の由来

砂防の「さ」
希望の「き」
をとり、親しみが持
てるよう「さきちゃ
んだより」とネーミ
ングしました！



《立谷沢川砂防出張所/砂防資料館》

〒999-6601
東田川郡庄内町狩川字堅田20-23
TEL 0234-56-2050
FAX 0234-56-2081
<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou>
立谷沢川砂防出張所ページをご覧ください
～砂防資料館～
開館日：※土日・祝日は閉館しております。
※ご利用の際は事前にご予約ください。

